

## MUCCS45/HDC45

1993年（平成5）、コンポジットテレビ信号の性質を保ちながら、45Mbpsのデジタル回線1本で最大4チャンネルの伝送ができるテレビ多重伝送システム「MUCCS45」を開発し、効率的で高画質な国際テレビ中継が可能になった。

また94年には、適応モード、量子化、画面分割などの独自処理により、HDTVを45Mbps1回線で伝送可能な「HDC45」を開発し、MUCCS45の後継機種「MUCCSII」とともに96年に開催されたオリンピック・アトランタ大会の国際中継に利用された。さらに、97年にはHDC45をベースに左右両眼画像を符号化伝送する立体ハイビジョンシステムを開発し、98年の冬季オリンピック長野大会の国内イベント中継に利用された。

出典：KDD社史